

教育長室からのお知らせ No. 102（令和 6 年 1 月）

教育長 田中 庸寛



明けましておめでとうございます。今年は辰年です。龍のように力強く邁進してまいりたいと思います。

元日に、石川県能登地方で最大震度 7 の地震が起きました。亡くなられた方々にお悔やみ申し上げますとともに、被災地の皆様に心からお見舞いを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行して初めての年末年始となり、帰省や旅行などで前年を上回る人出となったところもあったようですが、季節性インフルエンザとともに、冬から春にかけてはノロウイルスなどの感染性胃腸炎の集団感染にも注意が必要です。手洗いや体調管理を徹底し、感染予防・感染拡大防止に努めましょう。

3 学期は学年のまとめの時期です。園・学校では、子どもたち自身がしっかりとまとめができ、希望を持って進級・進学できるよう、一人ひとりの個性を見極めた声掛けやサポートを行ってまいります。また、今後の学校運営に生かすため、学校評価を行うに当たっては、12 月実施の保護者アンケートの結果や学校に蓄積されている様々なデータを十分に生かして多角的に分析することが必要です。その際は、すべての教職員が昨年 1 年のまとめや今後の展望を語り合うことにより、教育活動の成果を緻密に検証し、保護者や地域の皆様の信頼に応える学校づくりを目指します。

また、この季節、学校では書初めが行われますが、今の子どもたちは、羽根つきや凧揚げ、福笑いなど、昔ながらのお正月遊びを体験する機会は少ないのが現状です。昨年、各学校と小学校 3 年生に「いちかわかるた」が配付され、3 学期に活用する予定の学校や、家庭へ持ち帰り遊んでいる児童もいるようです。市川市動植物園の動物たちが本市を紹介しているこのかるたを通して、子どもたちには、本市の魅力を知り、愛着を深めてほしいと思います。

最後に、現在、教育委員会では、今後 5 年間に取り組む施策をまとめた、本市の教育の根幹となる第 4 期市川市教育振興基本計画の策定に向けて取り組んでいます。計画を策定しましたら本通信でお知らせしたいと思いますが、計画を着実に進めるため、教育委員会と学校との連携を十分に図ってまいります。

今年は、本市が市制施行 90 周年、生涯学習センターは 30 周年を迎える記念すべき節目の年です。保護者や地域の皆様との連携・協働を一層充実させ、市川の教育の承継・発展に努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。